

希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 28 年 5 月 31 日発行

第 9 号

発行人 校長 鈴木史良

運動会に向けて一致団結

—— 運動会の成功を目指してがんばる子どもたち ——

平成 28 年度の運動会が間近に迫ってきました。運動会に向けて、子どもたちはさまざまな準備をしています。先週は、執行部より年間を通しての児童生徒目標が発表されました。

我らいいところハンター！ 自然と+(プラス)な行動をしよう

昨年度の「+言葉」の実践を受け、さらにそれを行動にまで発展させていこうとする意欲的な目標だと思います。ハンターとなる目には、相手のよさを素直に認める心が大切です。この目標にリンクした形で、運動会の具体的行動目標が発表されました。

“全力でがんばっている俺が好き 全力で応援してる君が好き”

自分が出場する競技や太鼓演奏に全力を尽くすだけでなく、仲間のがんばりにも全力で応援するということを実行していこうとする行動目標です。運動会当日は自分のことはもちろん、友達のためにも一生懸命がんばることができる子どもたちの姿をより多く見ることができたら幸せです。そういうプラスな行動がごく自然に子どもたちから醸し出されてくると、それは本当に美しく、学校の教育全体を輝かせてくれます。

地元の店にポスター掲示依頼

先週、ウスター市民への日本人学校運動会PRとして、子どもたちが自作したポスターを掲示していただくよう、学年別に各場所をお願いに回りました。学校近隣の店舗や公共施設合わせて14か所です。事前にドイツ語授業の時間に、子どもたちがどのように依頼したらよいか、話しかける練習をしました。いざ本番の日、店に入った最初は、グーテンモルゲン（おはようございます。）と挨拶し、イッヒ ビン シューラー アン デア ヤパーニッシェン シューレ イン ウスター（私はウスターにある日本人学校の児童生徒です。）マイン ナーメ イスト ○○（私の名前は○○です。）と自己紹介しました。その後、運動会のポスターを作ったのでよく見えるところに貼ってください、というお願いをしました。もちろん、難しいですがドイツ語を使ってのお願いです。

私は1～3年生のグループに付き添いました。最初に行ったのはイタリアンレストラン「ARENA」、次にカフェ「ZUM HUT」、最後にウスター市役所を訪問しました。たどたどしくも一生懸命話す子どもたちの姿を、地元の方がたはあたたかい眼差しで見守ってくれました。子どもたちはやりおえて緊張がほぐれたせいか、帰り道はやけに元気になって学校に戻りました。



お店の人にドイツ語で依頼する1年生

応援練習&和太鼓練習の様子

校内では赤白にわかれた応援練習や和太鼓の練習にも力が入ってきました。白組 K・Eさん、赤組 I・Hさん、両応援団長のもと、白組も赤組も大きな声と手拍子で、高らかに伝統の三三七拍子を演じます。「オーッ」という掛け声と同時に天に向かってこぶしを掲げる動きにも力が入ります。

和太鼓の演奏練習も体育館内から屋外へと、より実践的な練習となりました。中には放課後、担当教師に特訓を志願した中学生の姿もありました。澄み切った青空のもと、子どもたちが演奏する和太鼓の音が響き、全身を使って演奏する子どもたちの姿が躍動しました。限られた練習時間ですが、子どもたちのがんばりによってすばらしい演奏に仕上がってきました。今後、応援も和太鼓も更にレベルアップするでしょう。本番での演技、演奏を乞うご期待！



応援団長を中心に気合を入れる



校庭に和太鼓の音が響く

6月の主要予定

ホームページでの公開はしていません。ご了承ください